

7月6日(土) 住民自治組織「大山すみい会」が主催した老松地区「榎瀬公園」斜面の草刈りに**地域貢献活動**として11名の生徒が参加しました。大人が草刈り機で刈った草を集め、軽トラックに積むのが主な作業でしたが、草の量が多く、予想以上にハードでした。中には軽トラに同乗し、草の廃棄を手伝った生徒もいます。主催した「大山すみい会」の方はもちろん、参加していた方からもお褒めと労いの言葉をいただきました。参加した生徒の感想を紹介します。

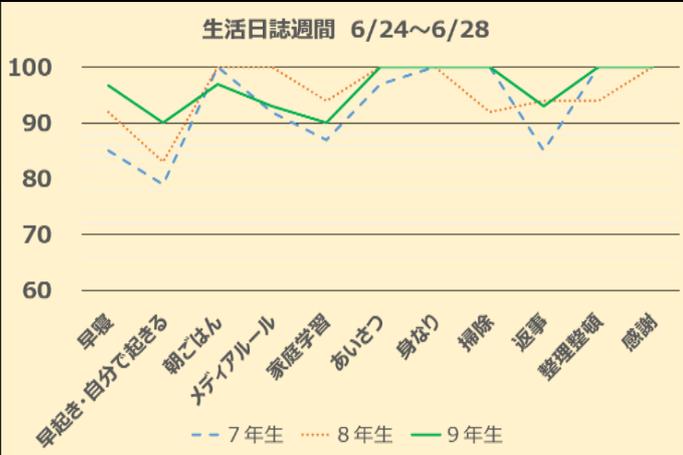
香月 翔満くん
きつかったけど、きれいにできたし、大人の人と協力できたし、いろいろと勉強になりました。軽トラで大人の人と草を運びました。涼しくて最高でした。いい経験になったいろいろな人と関わられたので良かったです。

佐治 一葉くん
草刈りがしっかりできてよかったです。結構疲れましたが、きれいになってよかったです。

河津 優太くん
参加する前は少し面倒くさいなという気持ちでした。暑さもあり体がきつかったですが、一生懸命やっているうちに慣れてきました。きれいになっていく様子を見て、気持ちが変わってきました。終わってすっきりした気分になりました。

矢野 陸斗くん
草刈りボランティアは疲れました。僕は校長先生がいた左側半分を頑張りました。3時間かかったけど、草刈りで自然と気持ちが晴れました。次回もできたら参加したいです。

菅原 麻央さん
暑い中、長そで・長ズボンはとても大変だったし、嫌な虫もたまに出てきてびっくりすることもあったけど、みんなと協力できてよかったです。きれいになった所がみられてよかったです。



3回目の生活日誌週間の結果(左グラフ)です。今までと比較してみると、どの学年もグラフ線が上のほうにまとまっています。特に今回は期末テスト前ということもあり、「目標学習時間」を守れた生徒が増えました。「早寝」「早起き・自分で起きる」が伸び悩んでいるのは、テスト勉強に遅くまで取り組んだことによるものと解釈したいところです。現在、4回目の生活日誌週間中です。過去3回の自身の生活を見直し、どの項目に重点を置くのか、意識するのかが結果は大きく変わると思っています。テストの答案も返却され、やり直しに取り組んでいる時期でもあるので、「目標学習時間」を守れている生徒が減少することはないだろうと思っています。

6月に全校生徒で人権標語に取り組み、各学年1作品ずつ、生徒と教員が「いいな」と思うものを選び投票を行いました。

- 各学年で最多投票を獲得した作品
- 7年生 栗野武美くん 「友だちの 未来を思い 注意する」
 - 8年生 梅村優奈さん 「見てるだけ そんな自分は 昨日まで」
 - 9年生 梶原快斗くん 「困ったら 迷わず言おう ヘルプミー」

各学年の投票数上位10作品を目安に日めくりカレンダー、短冊にして校内に掲示します。